

ヨコハマ 18 区のプロフィール

横浜といえば、みなさんはどんなイメージをもっていますか。中華街？氷川丸？それとも、シウマイ…いや、「坂が多くて電動アシスト自転車が必需品」とか、「横浜駅がいつも工事中でサグラダ・ファミリアみたい」「都会かと思ったら、意外にそうでもなかった」といった、住んでいる人ならではの印象をお持ちの方もおられるかもしれませんね。

狭いようで広い横浜市、多摩丘陵から東京湾まで、地形も多様なら町の様子もさまざまです。そこで、この第1号では、各区の生活科・総合的な学習の時間研究部長にインタビューし、それぞれの特色や生活・総合で活用できそうな材を教えてくださいました。「港ヨコハマ」などと決してひとくくりにはできない、18区のさまざまな顔を紹介します。

北部

港北区 堂野久美子（新吉田第二）

古くからの寺社があり、人とのつながりも深い一方、東横線や地下鉄の沿線では宅地化が進んでいます。農業が盛んで、小松菜などの野菜のほか、浜なしや浜柿も栽培されています。綱島周辺には町工場もあります。鶴見川流域センターでは流域の自然や歴史について学べます。

青葉区 川口聡子（美しが丘西）

こどもの国は遠足の定番！動物とのふれあいや搾乳体験が可能。実は旧日本軍の弾薬庫でした。近くの寺家ふるさと村では懐かしい田園風景に出会えます。東急の開発による住宅地が多い区ですが、米や小麦、浜なしの生産が行われ、いちご狩りができる農園も点在しています。

都筑区 山田拓哉（牛久保）

子育ての街であり、育児に関しては充実しています。その反面、通勤による家族の流入も多いため特徴です。歴史博物館や大塚・歳勝土遺跡があり、歴史に関する材は豊富。近郊農業が盛んで、お菓子・食品などの大企業の工場もあり、様々な材に恵まれています。

緑区 羽生田貴之（竹山）

その名の通り、緑豊かな区です。区のほぼ真ん中にある三保・新治の市民の森には、横浜の原風景に近い里山の自然が残っています。また、昔ながらの商店街が多く、人とのふれあいからたくさんのお話を学ぶことができます。人・自然・職と材が豊富な区と言えるでしょう。

西部

瀬谷区 原瀬光子（大門）

畑が多く、さまざまな野菜や花が栽培されているほか、牛とふれあえる相澤良牧場もあります。かつては養蚕が盛んで、当時の建物が残る長屋門公園では、昔の暮らしが体験できます。瀬谷市民の森をはじめ、里山の自然も残されています。海軍道路は桜の名所として有名。

旭区 畔柳昌平（川井）

帷子川の源流に位置し、地域のNPOや旭土木事務所と連携しながら川と関わる活動ができます。源流の一つである子ども自然公園は、雑木林や谷戸田など里山の自然が残り、ホタルの観察も可能。遠足で人気のゾラシアは、飼育員との交流やバックヤード見学が楽しいですよ！

保土ヶ谷区 池田尚弘（境木）

陣ヶ下溪谷やカーリットの森、旧東海道保土ヶ谷宿など、自然あり歴史あり。区内を流れる帷子川には、かつて横浜スカーフの棟梁工場がたくさんありました。「横浜のアメ横」こと天王町松原商店街は買い物客で大にぎわい。横浜市民児童遊園地・子ども植物園は緑豊かな公園です。

泉区 中村謙二郎（東中田）

和泉川・境川などの川や豊富な湧水があり、水に恵まれた区です。市内で耕地面積が1番広く、果樹園や養豚場もあり、農産物の直売所もたくさんあります。地産地消を食育に取り入れている学校も。あちこちに神社やお寺があり、地域のお祭りやお囃子も有名です。

東部

南区 豊田泰子（藤の木）

南区は、「大岡川」や、区の花「さくら」、商店街がたくさんある区です。豊かな自然環境や公園が残り、そんな自然やお店との関わりを材にした生活・総合の学習が各校で行われています。また、学校の協力者も多く、どの地域でも人には困っていないそうです。

中区 目黒美紗子（本町）

横浜の歴史を身近に感じられる区です。建物や様々な像、湧き水、博物館など、材がたくさんあります。学校も畑やたんぼがある学校があったり、町なかの学校もあったりといういろいろです。新旧の会社や多様な職種の人材と関わることもできるのも、中区の魅力の一つです。

鶴見区 中原節子（旭）

鶴見区には三ツ池公園という園内に三つの池がある大きな公園があります。園内には35品種、1000本を超える桜が植えられており、日本さくら名所百選の一つに選定されています。夏にはプール、春や秋には遠足で利用するなど、子どもたちが一年中楽しめます。

神奈川区 坂口萌（西寺尾）

神奈川区の区の花はチューリップです。チューリップの写生会には、区内の小学校在籍しています。岸根公園や三ツ沢競技場なども区内にあり、その一方で羽沢町のキャベツ畑など、のどかな風景も見られる区です。

西区 奥村千絵（宮ヶ谷）

西区には、帷子川や大小さまざまな公園があります。藤棚や戸部などの商店街もあり、人とのつながりが深い区です。生活・総合の「つながりリスト」を持っている学校もあり、単元の内容とに関わりたい方を区内で紹介しながら進めることができます。

南部

港南区 川崎雄大（桜岡）

大岡川、日野川などの河川ではクリーン作戦が行われているため、環境整備への意識がもちやすいと思います。また久良岐公園、港南台生き生きプレイパークなど大きな公園があります。上大岡連合・社協まつり、鹿島神社のどんどやきなど伝統や歴史をまもるお祭りがさかんです。

栄区 瀧川智（桂台）

瀬上市民の森や横浜自然観察の森など、豊かな自然に恵まれています。ウナギもすんでいる柏尾川の流域で、支流のいたち川は花見の名所。史跡・文化財としては田谷の洞窟や貝殻坂（貝塚遺跡）が知られています。ゆるキャラのタッチーくんは、いたち川にちなんだもの。

金沢区 藤田百合香（並木第四）

金沢区は海を題材にした材が豊富です。特に野島には市内唯一の自然海浜があり、干潟では様々な生き物を観察できます。朝夷奈切通しや称名寺・金沢文庫のような鎌倉時代ゆかりの史跡もあります。また商店街や工場が多く、人とたくさん関わることもできるよさがあります。

戸塚区 岩淵美加子（品濃）

舞岡公園は雑木林や谷戸田を生かした自然公園で、水田体験も行われています。東戸塚周辺は新駅開業を機に商業・住宅地区として発展しましたが、牧場（肥田牧場）や果樹園もあります。区内を旧東海道が縦断し、品濃一里塚は現在も原形を留めています。

磯子区 岬脩平（森東）

磯子といえば、「工場萌え」。湾岸には工場や発電所が集まり、工場夜景スポットとして一部で知られています。また、磯子・杉田・根岸橋など商店街もたくさんあります。円海山や氷取沢市民の森など自然も豊か。三殿台遺跡は縄文〜古墳時代のムラの跡です。

夏季研修・夏季臨地研修



1 夏季研修会について

日時：8月2日（木） 9時～12時

場所：富士通エフサス みなとみらい Innovation & Future center クイーンズタワー-B棟9階

内容：講演会&ワークショップ ～みなとみらい地区に集まって、ネットワークを広げよう～

社会変革を迎えている横浜の現状を知り、その時代を生き抜く子どもたちと教員のあり方を考えられるよう、そして、夏休み後に先生方が元気に豊かな授業を実践できるような研修を企画しました。前半の講演会では、社会とつながる教育の可能性について、市政策局共創推進課 関口 昌幸様・株式会社ポヌール ナカヤ タエ様・iPhoneアプリ開発者 若宮 正子様からお話をうかがいます。後半は富士通エフサス 岸本 伴恵様をファシリテーターに迎え、「教員の社会参画への喚起と人生設計」（仮題）についてのワークショップを行います。ドラマのロケ地にもなった Innovation & Future center のオフィス環境と、そこからの眺めも必見！

2 夏季臨地研修会について

市・区の連携を深める取り組みの一環として、今年度はみなとみらい地区・サカタのタネ（大門小）・横浜自然観察の森の3か所で臨地研修を共同開催します。

方面	区名	臨地研予定	内容
東部	鶴見、神奈川、中	みなとみらい地区 みなとみらい本町小学校	みなとみらい地区の教育力の活用をめざし、シティウォークと講演・ワークショップを行います。
	西	帷子川 ココベリプラスによる研修 平沼小学校	環境学習の専門家の協力により、川の生き物調査についてのフィールドワークを行います。
	南	子ども植物園・環境活動支援センター	両施設の方のお話をうかがい、施設見学とフィールドワークを行います。
西部	瀬谷、泉、旭、保土ヶ谷	サカタのタネ栽培研修 大門小学校	サカタのタネの専門家による講演と土づくり実習、ワークショップを行います。
南部	栄、港南、金沢	横浜自然観察の森	森や湿地など、自然観察の森の様々な環境を生かし、五感を使って自然と親しむ研修です。
	磯子	子ども科学館	iPadを使ってロボットを動かす、プログラミングの実践的な研修を行います。
	戸塚	子ども植物園・環境活動支援センター	（南区と合同）
北部	港北	鶴見川流域センター	鶴見川流域の環境や自然、歴史などにふれながら研修します。
	緑	みどり遊楽舎	人と人との交流を通して、森の持つ自然の力を体験します。
	都筑	横浜市歴史博物館	都筑区の人々の暮らしと産業を学びます。
	青葉	飯島指導主事の講演会	思考ツールの活用法を学び、探求的な学習活動の展開をめざします。

吾輩は〇〇である ～社会の常識を、学校に！～

突然ですが、ここで問題です。会社員の仕事には必須だけど、教職員はあまり使わないもの、なーんだ？「すみません、今切らしてあります…」

そう、名刺です。スマホで済みそうなものですが、今でもビジネスには欠かせないツールですね。みなさんは名刺をお持ちですか？特に生活・総合では行政や企業、NPOの方とお会いする機会が多いので、顔を「つなぐ」ためにもぜひ用意したいものです。といっても支給されるわけではありませんので、お手数ですが横浜市共通名刺のエクセルファイルをご利用ください。裏面には自分の得意分野とか、学区の見どころの写真やイラストを入れると、PR効果が倍増しますよ。

共通名刺の作成について(YCAN)：<http://inw1.office.ycan/b/so/somu/syomu/card/>

連携クイズ 答えはこのお便りを（すみからすみまで）読んでね！

- 1 カササギの学名は？ ① *Gorilla gorilla* ② *Pica pica* ③ *Mola mola* (すべて実在します)
- 2 こどもの国の前身は？ ① 秘密基地 ② 牧場 ③ 弾薬庫 (今でも残っていますよ)
- 3 神奈川区の花は？ ① はまみらい ② チューリップ ③ ラフレシア (花言葉は「思いやり」)
- 4 肥田牧場があるのは？ ① 瀬谷区 ② 緑区 ③ 戸塚区 (会長と同じ名前の牧場は…)

横浜市生活科・総合的な学習の時間研究会

連携だより

Pica Pica

第1号

平成30年7月20日

連携そして協働へ

会長 相澤 昭宏

今年度から、横浜市生活科・総合的な学習の時間研究会に新たな組織が立ち上がりました。その名も「連携部」です。ここ数年、本研究部会は「学びをつなぐ」をテーマにして研究活動に取り組んできました。具体的には、「実社会・実生活とつなぐ」「一人ひとりの学びをつなぐ」「授業と授業、単元と単元をつなぐ」という視点をもって指導計画を作り、実践に取り組むということです。

このような中で市研究部会として、どのようにして各学校や先生方をサポートできるかを考え議論して、組織の中に「連携部」を立ち上げることにしました。

各学校、各区、あるいは先生方をつなぐことや、市研究部会と各区の研究部会が連携して研究活動を充実させることはもちろん、さらに行政や企業、NPO、関連機関等と学校がつながり、協働することができるような仕組みを整備していきたいと考えています。

そして、こうした情報を随時お知らせすべく、このたび「連携だより」を発行することしました。部員のみならず、校内で回覧していただければ幸いです。

今後、社会に開かれた教育課程の下、さまざまな人やリソースがつながり、ますます充実した実践や研究が展開されることを期待しています。

カササギのかけ橋

連携部長 矢野 達也

みなさん、こんばんは。七夕の夜にこの文章を書いています。

七夕といえば織姫と彦星ですが、二人をつなぐかけ橋となるカササギという鳥をご存知でしょうか。日本では主に九州に分布するカラス科の鳥で、大陸から持ち込まれたのではないかと考えられています。先日、唐津の陶工にお会いした時、登り窯の上をふわりと飛んだこの鳥を見ながら、「私どもの先祖と一緒に、朝鮮から渡ってきたんですよ」とつぶやいていたのが印象に残っています。ところで、このお便りを手に取ってくださったあなたは、きっと生活・総合が大好きで、人と関わったり、地域の学習材を発掘したりするのが楽しくてしかたがないはず。

そんなあなたも、ひょっとして、こんな悩みをかかえてはいませんか？

「生活（総合）でこんなことをやりたいんだけど、協力してくれる人はいないかなあ。」

「住宅ばかりで何もない学区なのですが、何か面白い学習材、知りませんか？」

「他の区や学校では、どんな実践や研修をしているのかな。一緒にできたらいいな。」

「うちの学校では、学級総合がなかなかできなくて困っています。助けて！」

生活科・総合的な学習の時間部会（以下、市研）では、これまでも優れた実践の紹介や講演会、研修などを通して、生活・総合の研究を深め、知見の共有をはかってきました。

しかし、せっかく忙しい時間をさいて研究会に集まっていたのですから、この場をもっと活用しない手はありません。そこで今年度発足したのが「連携部」です。

連携部の役割は、「つなぐ」こと。部長会や合同の臨地研修を通して、市研と区研、区研同士を「つなぐ」。行政や企業、市民など、協力してくださる様々な地域の人材や機関と「つなぐ」。そして、この「連携だより」を通して、学校同士・部員同士を「つなぐ」。一人では難しいことも、「つながる」ことで解決できたり、広がりや深まりが生まれたりします。研究の第一線でバリバリ、という方も、輪番で区の部長になった方も、勤務校の生活・総合をよりよくしようと奮闘中の方も、明日からの実践に役立つような「つながり」を作っていきたいと思います。

生活・総合は「楽しんだ者勝ち」。教師自身が楽しく、熱中できる学習材や単元だからこそ、子どもも夢中になります。「つながる」ことで、今まで以上に楽しい生活・総合をみんなで作っていきましょう！カササギ（学名は *Pica pica*）のように、みなさんを「つなぐ」かけ橋になれば幸いです。